

学校だより

津久戸

令和元年5月7日

5月号

新宿区立津久戸小学校

新たな取り組みも生かして

副校長 内藤 徳子

新年度が始まり、一月が過ぎました。1年生の顔からも4月当初の不安げな表情が少しずつ和らぎ、休み時間には初夏を思わせる日差しの中、黄色い帽子をかぶって元気に校庭を走る姿が見られます。

先日の学校探検では、2年生が事前にあちこちにインタビューに出かけ、入念に学校のことを調べて1年生に教えてあげている姿がありました。少し背伸びしたような、津久戸での先輩気分を味わっているような大人びた表情がとても印象的でした。最高学年となった6年生をはじめ、それぞれの学年が進級を実感した一か月だったように思います。

さて、元号も改まり、気持ちも新たにスタートを意識し、新しい取り組みも充実させていかなければと身の引き締まる思いがします。

昨年度から取り入れたコーディネーショントレーニングもその一つです。コーディネーショントレーニングとは、行動科学的な運動観に基づくトレーニングで、体幹を意識した動きを行うことで、個々が本来持っている能力を引き出すことができる運動です。すでに子どもたちは体育の時間の準備運動などで、楽しく体を動かしています。大都会の中にあって、十分な運動量を確保することが難しい津久戸小の子にぴったりのトレーニングということが出来ます。今年度本校は、コーディネーショントレーニング拠点校の指定を受け、より充実したものになりたいと考えています。

「くの字運動」「Sの字運動」「ラディアン」などという言葉をお子さんから聞いたことがあるでしょうか。今年度は、学校公開日などを活用して、親子で体験できる機会が設けられるといいと思っています。

さて、今月25日には、元号が令和と改まって最初の運動会があります。昨年度の反省も生かし、暑さ等も考慮に入れて、プログラムを考えました。それぞれの学年の発達段階を考慮した種目の充実と効率化を図りながら、見にいらして下さる地域や保護者の方々、関係の方々にとっても見応えがあり、また、勝敗等がわかりやすくなるよう工夫を加えました。

早くもコーディネーショントレーニングへの取り組みの成果が表れているかも知れません！今年の運動会にもぜひご期待ください。

「まなびの教室」について

一人一人の苦手なこと、困っていることに合わせた学び方で学習する場所が「まなびの教室」です。普段は在籍する学級で過ごし、週1時間校内の「まなびの教室」で個別や少人数指導を受けます。

「困っていることに合わせた学び方」の例として、2つの学習を挙げます。

・話を聞いて指示の内容を理解する学習

聞くべき音声に集中できなかったり、聞いた内容の理解が難しかったりする場合、しりとりや伝言ゲーム、ことば集めなど様々なことば遊びで学習します。この学習を通して、話す人に注目して話の中の大切な言葉を聞き取れることを目指していきます。

・ビジョントレーニング

視機能に困難さがあり、音読に時間がかかったり、板書を書き写すのが苦手だったりする場合、散在する番号を順番通り拾い読むなどの視点を移す学習を行います。

一人ひとりの児童が十分に力を発揮して、楽しい学校生活が送れるよう、「まなびの教室」の活動を推進しますので、保護者の皆様のご理解、ご支援をお願いします。



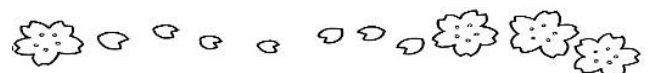
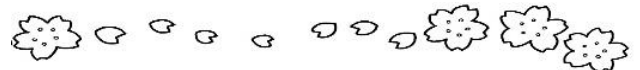
今年度の教育計画について

今年度より水曜日の6時間授業（3年生以上）を年10回行います。10連休もあり授業日数が例年より少ないこと、平成32年度より全面実施となる新学習指導要領実施に向けて外国語活動の授業時数を今後確保する必要があるためです。

また、創立115周年の年であることから、11月には115周年行事を行い、全校でお祝いします。そのため、例年2学期に実施していた文化的行事(今年は展覧会)を2月に行います。

研究については、今年度より新宿区教育課題研究校として2年間にわたり、「主体的・対話的な深い学び」を実現するための効果的なカリキュラム・マネジメントの実践について生活科・総合的な学習の時間を中心にすすめていきます。

本年度も本校の教育活動へのより一層のご支援、ご協力をお願いいたします。



5月の生活目標

『人の気持ちを大切にしよう』

- ◇元気よくあいさつをしよう。
- ◇他の学年の人ともなかよく遊ぼう。
- ◇協力して活動しよう。
- ◇言葉づかいをきちんとしよう。

今月の生活目標は、『人の気持ちを大切にしよう』です。クラス替えがあったり、異学年との交流も始まったりと、関係が広がっていくこの時期に大切にしたいのがあいさつです。あいさつは、元気・素直さを生む魔法の言葉です。そのあいさつの力を強くする4つのスキルにも、今年は挑戦してみてください。

- ①相手の目を見て
- ②笑顔で
- ③元気な声で
- ④はっきりと

「おはよう」「さようなら」「はい」「ありがとう」などの言葉が明るく飛び交う津久戸小でありたいです。
(生活指導部)

